

**(川崎さん)**

だと自分は思いますね。他人との関わりであるとか、形であるとか。物であるとか。すべてにおいて、どういう風に関わりあえば、うまくいくんだろうか？ ということとを今回すごく考えさせられました。

…休憩 NHK ハートネットTV上映(26分間)…

**(川崎さん)**

実際、施設でもこういう状況であるということも、皆さんにより知っていただける機会になったかと思います。

本題に戻って、障害者である我々が災害時にどうすべきか。どうあるべきかということに関して、皆さんからご意見をいただけたら、と思います。

まず、命を守ることかな、と個人的には思いますけど。こういう目に遭いましたから。だけど、皆さんそのためには、どういう、お知恵をお借りしたい、と思う気持ちもありますので、よろしくお願いします。

**(天田さん)**

自分もどうあるべきかはわからないですけど、ちょっと話戻りますけど、さっき話されていた個別避難計画ですけど、自分も親を通じて市に申請はしてあって、もしもの時は助けてくれる算段はしてあったのですが。

被害が少ないというか、かほく市の方は、まだちょっと震災被害が少なかったにもかかわらず、助けてくれるはずの近所の人を訪ねて来なかった、というのが現実起こったことなのです。

自分自身も普段は、親の車で外出はするのですが、ご近所付き合いも、あまりしないので、自分が出かけるとなったら、まず自分で靴を脱ぐのはできるけど、履くのは難しく、靴を履かせてもらって外用と家用の車いす 2 台持ちなんですけど、外用